

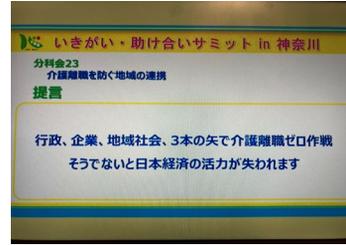


## 近未来は「ワーク・ライフ・ケアバランス社会」

現場からの  
レポート

メンバーMは、評論家の樋口恵子先生を大尊敬しています。樋口先生は、介護保険制度の創設に尽力された方であり、近未来は「ワーク・ライフ・ケアバランス社会」、必然の未来のキメ手は、「**介護離職防止策**」であると、近年「**介護離職ゼロ作戦**」に大変力を入れていらっしゃいます。

9月1日・2日にパシフィコ横浜で開催された、さわやか福祉財団主催（会長 堀田力氏：元検事）の「いきがい・助け合いサミットin神奈川」に光栄にも参加させていただき、様々な活動や支援を通じて、その特性を体得した人たちが会場とオンラインでつながり、34の分科会に分かれてお互いの情報を交換しあって学び合いました。



メンバーMは、樋口先生が進行役、テレビでもおなじみの淑徳大学の結城康博先生がアドバイザーをされた「**介護離職を防ぐ地域の連携**」分科会に参加。介護は**福祉政策**の中で語られることが多いなかで、「**介護離職**」の問題は「**社会を支える経済政策**」であると強調されました。私たちスマイル☆ケアケアが取り組む「**就労とダブルケアの両立**」がいかに大切かということをあらためて認識することができました。

ケアに関わる公私の労働を、**ジェンダー平等の視点**からどう担い合うのか、その**コスト**を公私がどう支え合うのか。働き方改革の場は、「**家庭・地域・職場**」のすべての場で行う必要があること、育児や介護などのケアをめぐるジェンダーの解消などダイバシティとインクルージョンを目指す企業文化を**地域**にも広げることで、ジェンダー解消にも役立つことが期待されるなど、心の中で**大拍手のしっばなし**でした。\*\*\*\*\*

メンバーMは、学びの場を通じて、**人間の証明**ともいえるケアの営みを、誰もが**スマイル**で向き合い、それら**見える化**し、**評価する社会**の構築に、**勇気**をもってスマイル☆ケアケアのメンバーと取り組んでいきたいと強く強く強く誓いました！

## ナツイチ！「その介護離職、お待ちなさい」樋口恵子先生

オススメの  
1冊

メンバーRの小学生の息子も夏休みの宿題で最後まで残ったのが、読書感想文。そういえば、母である私も小学生の頃苦手でした。

そこで某出版社のキャンペーン「ナツイチ」のごとく、メンバーRも夏の1冊を読むことにしました。選んだ本は、上記の現場リポで紹介しました樋口恵子先生の「**その介護離職、お待ちなさい**」です。樋口先生は2000年に**介護保険制度**を成立させた立役者であり、介護の認識を大きく変えるきっかけを作った方です。

この本の中から特に印象に残ったところをピックアップしてご紹介いたします。『閉ざされた家庭の一室に、家族だけから介護され、外から見えなかった日本のお年寄りが、介護保険制度のスタートと共に、四月の陽光の中へ弾けて出ました。それは、明るい風景でした。**日本の要介護の高齢者の可視化、介護の可視化、介護する人、される人の可視化、これが介護保険制度の最大の効果だ**と思います。家庭が外に開かれ介護を社会に頼むことが恥や負い目ではなくなりました。』

著者は、「**ながら介護**」を勧めています。それは、**自分が幸福になる道を閉ざされない、人生の目的を達成しながら、人間の証明である介護もしていく**ということです。

そしてその介護は「**介護する人が幸せでなかったら、介護される人も幸せになれません**」という言葉に表れています。そのような社会を作っていくこと。スマイル☆ケアケアのメンバーも含めて、日本の大きな大きなミッションだと感じました！



< 2017年10月  
(株)潮出版社 >

### 【編集後記】

二期が始まり、小学校のオンライン授業など対応に追われていますが、皆さまはいかがでしょう？

今月号は、おかげさまで記念すべき**20号**となりました！そして今月号は、どちらも樋口先生にまつわる記事となりましたが、改めてケアは誰の人生の中にもあると同時に日本の大きな社会課題であると感じたところです。また樋口恵子先生の最新エッセイ「**老いの福袋（中央公論新社）**」もおすすめです！「**ローバは一日にしてならず**」「**老年よ、大志とサイフを抱け!**」など明るく爽快な名言もいっぱいですよ（持ち回り編集長 R）

次号は、**10月11日**発行です。お見逃しなく〜！ 【連絡先】スマイル☆ケアケア事務局 Email-smilecarecare@gmail.com

